

平成22年3月23日

平成21年度文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）

被表彰者の決定について

文化庁では、このたび、平成21年度文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）の被表彰者を決定しましたので、お知らせいたします。

1. 表彰の概要 文化芸術の力により、市民参加で地域の活性化に取り組み、特に顕著な成果をあげている市区町村に対し、文化庁長官が表彰する。
2. 被表彰数 4件
3. 表彰式 〈日時〉平成22年3月29日（月）14：30～
 〈場所〉文化庁特別会議室（旧文部省庁舎5階）
 東京都千代田区霞が関3-2-2

（お問い合わせ）

文化庁長官官房政策課

課長補佐 柏田 昭生（内線2804）

担当係長 竹之内勝典（内線2806）

電話 03-5253-4111（代表）

03-6734-2806（直通）

平成21年度 文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)表彰名簿

市町名	活 動 内 容
<p>ひがしかわ 東川町 (北海道)</p>	<p>東川町は、町制施行から100年に満たない若い町の地域文化の振興と、歴史の浅い写真文化の発展とを重ね合わせることで、東川町独自の文化を創り出し、写真文化を通じて地域全体が心豊かな暮らしを育もうと、昭和60年に、写真と地方行政という異質な分野の融合、そして世界に開かれた町を目指し、他の自治体に例のない「写真の町宣言」を行った(町のHPをはじめ、名刺、パンフレット等の行政作成のあらゆる印刷物に「写真の町・北海道上川郡東川町」と表記されている)。</p> <p>宣言を行った昭和60年からプロの写真家、愛好家と住民が写真を通じて交流する東川町国際写真フェスティバルの開催や日本ではじめて、自治体が写真作家を顕彰する「東川賞」を制定し、写真文化の振興に貢献するとともに、過去の作品を顕彰の対象作品とし、作品の再評価を行う新しい試みも実施している。</p> <p>また、平成6年には「写真甲子園」を創設し、高校写真部・サークルで活動する高校生に、作品を発表する機会を提供するとともに、若年層の写真技術の向上を図っている。毎年7月に行われる本戦を目指し、全国から集まった高校生が町民宅にホームステイしながら奮闘する様子は、写真に真摯に打ち込む高校生とそれを暖かく見守りサポートする地元住民との文化交流として、多くのマスメディアで取り上げられている。</p>
<p>せんだい 仙台市 (宮城県)</p>	<p>開府400年を記念して平成13年に創設された「仙台国際音楽コンクール」は、才能ある若い音楽家を輩出するだけでなく、関連イベントが市民の手で行われるなど、市民に定着したものとなっている。また、国内外で活躍するアーティストのコンサートを市内の多数の会場で同時に安価で開催する「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」や、公園や広場をステージに、誰もが参加でき、気楽に楽しめる無料の市民音楽祭である「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」など、「楽都仙台」として芸術文化を誰もが親しめる環境づくりを行っている。</p> <p>また、平成14年に開設された「せんだい演劇工房10-BOX」は、広さの異なる小練習室、舞台装置や大道具の製作が可能な作業場など、利用者の意見が反映された創造環境を備えており、利用者の自主管理による深夜利用の実現、地元演劇人とタイアップした運営が導入され、「劇都仙台」の拠点的役割も担っている。</p> <p>平成13年にオープンした「せんだいメディアテーク」は、ギャラリー、図書館、映像センターの機能を有しており、市民の美術や映像文化の活動拠点となっている。平成15年から実施している都市、建築デザインのプロを目指す全国の学生の卒業設計を一堂に集める「せんだいデザインリーグ」は、これまで3,000件を超える応募があり、定着してきた。</p> <p>仙台市若林区卸町は東日本最大の卸商団地のある「倉庫のまち」として知られ、地元企業、芸術家とNPO法人との協働により、現代アートを倉庫や各企業のショーウィンドーに展示したり、倉庫で長唄、三味線や演劇の公演、映画の上映を行うなど地元の資源を文化によって有効利用している。</p>
<p>なかのじょう 中之条町 (群馬県)</p>	<p>平成19年に始まったアーティスト主導で行う大規模アートイベント「中之条ビエンナーレ」も2回目を終了し、全国的に認知された感がある。四方・沢渡温泉郷で名高い中之条町に100人以上のアーティストが集まり、温泉街をはじめとして古い木造校舎や商店街など町中のいたる所を美術空間に変えており、非日常の異世界を創り出し地元住民に大きな刺激を与えた。</p> <p>また、平成11年度から始まった「伊参(いさま)スタジオ映画祭」は、「中之条ふるさと塾」を母体に上毛新聞社、中之条町役場、ボランティアスタッフらが、一から手作りで企画した、小さな山里の小さな映画祭であり、厳選された映画の上映や有名監督のトークショーをはじめ、大都市の映画祭とは違ったぬくもりのある映画祭を実施しており、若手映画監督が作品発表できるイベントとして人気を集めている。中之条町で数多く撮影が行われるにつれて、伊参スタジオで撮影された映画・ドラマに町民がエキストラとして多数参加するなど、住民にも映画づくりの楽しさを体感する機会を増やし、「住民参加の映画づくり」に取り組んでいる。</p> <p>小さな温泉地の独特な空間をアートと映画を活用し再興しており、同様の温泉地のモデルとなる活動を展開している。</p>
<p>べっふ 別府市 (大分県)</p>	<p>平成8年頃から、民間を中心に、別府市が有する多種多様な地域資源に着目し、地域を見つめ直していく動きが始まり、地域の人しか利用しない共同温泉や地域の人にこよなく愛されている老舗などを訪ね歩く「路地裏散歩」や、かつて繁栄を誇った頃に活躍した流し演奏の復活、最高級のマッサージやエステ技術、温泉名人を目指す温泉道など、温泉文化に関連した数々の資源を発掘、利用する「別府八湯温泉泊覧会(オンパク)」を開催するなどし、「世界の健康回復都市『別府』きれい・元気づくり(ONSEN・ツーリズム)」を推進し、地域再生を図っている。</p> <p>また、「育む」「アジア」「創造と発信」を3つのコンセプトに掲げた「別府アルゲリッチ音楽祭」が開催され、世界のトップ・アーティストやアジアの音楽家たちがクリエイティブな共演を繰り広げるとともに、若者や子どもたちを「育む」ためのさまざまなプログラムを実施している。市民ボランティアも参加するなど、まちにも広く根づいたものとなっている。アートNPOの代表格として活動している「BEPPU PROJECT」は、世界の温泉文化創造都市を目指した国際シンポジウムを開催するなど、現代芸術の紹介や教育普及活動の他にも温泉地を活用した様々な文化事業を行っている。</p>

平成21年度文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）

選考会議選考委員名簿

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 熊倉 純子 | 東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科准教授 |
| 後藤 和子 | 埼玉大学経済学部教授 |
| 佐々木雅幸 | 大阪市立大学大学院創造都市研究科教授 |
| 田村 孝子 | 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」館長
NHK解説員 |
| 蓮池 奈緒子 | NPO法人アートネットワーク・ジャパン代表 |
| 吉本 光宏 | (株)ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室長 |
| 若林 朋子 | (社)企業メセナ協議会シニア・プログラム・オフィサー |